

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「先進国株式インデックス・ファンド」は、日本を含む世界各国の株式（預託証券およびカントリーフンドを含みます。）を実質的な主要投資対象とし、MSCIワールド・インデックス（円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行いましたが、約款の規定に基づき2019年4月9日に繰上償還となりました。ここに謹んで運用の経過と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも弊社の投資信託に一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



先進国株式 インデックス・ファンド

追加型投信／内外／株式／インデックス型



第45期末(2019年4月9日)

償還価額(税込み)	13,345円87銭
純資産総額	183百万円
第44期～第45期	
騰落率	4.0%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

交付運用報告書

第44期(決算日 2019年3月18日)
第45期(繰上償還)(信託終了日 2019年4月9日)
作成対象期間(2018年12月19日～2019年4月9日)

インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<お問い合わせ先>

お問い合わせダイヤル：(03)6447-3100
(受付時間：毎営業日の午前9時から午後5時)

ホームページ <http://www.invesco.co.jp/>

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、インベスコ・アセット・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

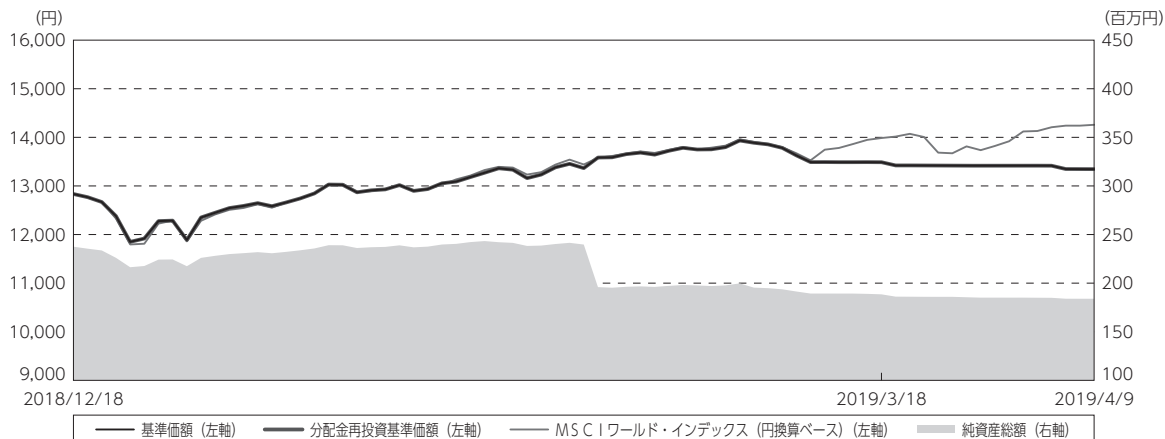
<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
右記<お問い合わせ先>のホームページにアクセスし、「ファンダー一覧」等から運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

UD
FONT
見やすく読みましがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2018年12月19日～2019年4月9日)



第 44 期 首：12,834円

第45期末(償還日)：13,345円87銭 (既払分配金(税込み)：0円)

騰 落 率： 4.0% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額およびM S C Iワールド・インデックス(円換算ベース)は、作成期首(2018年12月18日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) M S C Iワールド・インデックス(円換算ベース)は、ベンチマークです。ベンチマークの詳細は11ページをご参照ください。

○基準価額の主な変動要因

[上昇要因]

- ・日本を含む世界の先進国の株式を実質的な主要投資対象としているため、当作成期間中、全般的に株式市場が上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。セクターでは全セクターが上昇し、上昇率の大きかった3セクターは情報技術、素材、資本財・サービスとなりました。
- ・実質外貨建資産の対円での為替ヘッジを行わなかったため、投資対象資産の組入通貨である英ポンドなどが対円で上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。

[下落要因]

- ・実質的な組入通貨であるスウェーデンクローナ、ニュージーランドドル、ユーロなどが対円で下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

1万口当たりの費用明細

(2018年12月19日～2019年4月9日)

項 目	第44期～第45期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 35	% 0.265	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(16)	(0.119)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
(販 売 会 社)	(16)	(0.119)	購入後の情報提供、運用報告書等各种資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.027)	ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	29	0.221	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(29)	(0.218)	
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.003)	
(先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	(0)	(0.000)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.002	(c) 有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税÷作成期間の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.002)	
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	63	0.476	(d) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(58)	(0.445)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(印 刷 費 用)	(4)	(0.029)	印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等
(そ の 他)	(0)	(0.002)	その他は、外国有価証券に係る税金・手数料等及び信託事務の処理に要する費用
合 計	127	0.964	
作成期間の平均基準価額は、13,127円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2014年3月18日～2019年4月9日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびMSCIワールド・インデックス（円換算ベース）は、2013年12月18日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2014年3月18日 決算日	2015年3月18日 決算日	2016年3月18日 決算日	2017年3月21日 決算日	2018年3月19日 決算日	2019年3月18日 決算日	2019年4月9日 償還日
基準価額 (円)	10,346	12,564	11,011	12,578	13,474	13,488	13,345.87
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	120	120	120	120	90	—
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	22.7	△ 11.5	15.4	8.1	0.8	△ 1.1
MSCIワールド・インデックス(円換算ベース)騰落率 (%)	—	25.1	△ 13.3	14.5	8.1	4.1	1.9
純資産総額 (百万円)	295	321	261	286	272	188	183

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算当日との比較です。ただし、償還日の騰落率は償還日の直近の決算日との比較です。
- (注) MSCIワールド・インデックス（円換算ベース）は、ベンチマークです。ベンチマークの詳細は11ページをご参照ください。

投資環境

(2018年12月19日～2019年4月9日)

TOPIX (東証株価指数) (日本)	+3.6%	S & P 500 指数 (米国)	+13.0%
FTSE 100 指数 (イギリス)	+10.8%	DAX 指数 (ドイツ)	+10.3%
CAC 40 指数 (フランス)	+14.4%		
米ドル／円 111円42銭 (前作成期末 112円79銭)		ユーロ／円 125円45銭 (同 127円97銭)	

※株価指数の騰落率は償還日時点 (対前作成期末比)、米ドル／円およびユーロ／円は償還日の数値です。

< 株式市場 >

当作成期の世界の株式市場は、全般的に上昇しました。

米国株式市場は、①米連邦準備制度理事会 (F R B) が2019年内の利上げの見送りと保有資産縮小の終了の方針を示したこと、②米中貿易交渉の進展への期待感、③良好な企業決算一などにより株価が上昇しました。欧州では、欧州中央銀行 (E C B) による主要政策金利の据え置きや、投資家心理の改善を受けて株価が上昇しました。英国の株式市場は、同国の欧州連合 (E U) からの離脱 (ブレグジット) をめぐる交渉が難航しているものの、資源価格の上昇などに支えられ、株価が上昇しました。日本の株式市場は、米中貿易摩擦をめぐる懸念が和らいだことや世界的なリスク選好の動きを受けて上昇しました。

< 為替市場 >

作成期初1米ドル112円台でスタートした米ドル／円レートは、米国長期金利の低下などから円高／米ドル安が進み、償還日には1米ドル111円台となりました。

作成期初1ユーロ127円台だったユーロ／円レートは、欧州委員会によるユーロ圏経済の成長見通しの引き下げなどの影響からユーロが売られ、償還日には1ユーロ125円台とユーロが円に対し下落しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2018年12月19日～2019年4月9日)

主として、インベスコ 先進国株式インデックス マザーファンド（以下、マザーファンドといいます。）に投資を行い、マザーファンドを通じて、日本を含む世界の先進国の株式に投資を行いました。また、実質外貨建資産の投資に当たっては、為替ヘッジを行いませんでした。

マザーファンドでは、最適化されたポートフォリオを構築、管理し、適切にリバランスを実施することで、MSCIワールド・インデックス（円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指しました。具体的には、ファンド内のキャッシュポジションを低位に保ちながら、保有する銘柄のコーポレートアクション（買収、増資、スピンオフなど）に対応した結果、ほぼベンチマークに連動したパフォーマンスとなりました。

2019年2月末にベンチマーク採用銘柄の入れ替え（Quarterly Index Review）が行われましたが、当ファンドでもベンチマークの銘柄異動を考慮しつつ必要に応じて売買を行い、ベンチマークへの連動性を維持する運用を行いました。

なお、繰上償還が確定した後は、2019年4月9日の償還に向け、3月中にポートフォリオの現金化を図り、安定運用に移行しました。また、配当金など外貨の入金があった場合には、速やかに円に転換しました。

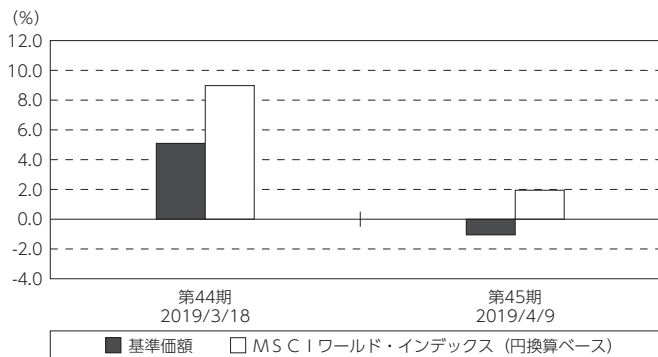
当ファンドのベンチマークとの差異

(2018年12月19日～2019年4月9日)

当作成期の基準価額騰落率は+4.0%となり、ベンチマークであるMSCIワールド・インデックス（円換算ベース）の騰落率+11.1%を下回る結果となりました。

一般的に、インデックス・ファンドのパフォーマンスがベンチマークから乖離する要因としては、配当金（プラス要因）、信託報酬（マイナス要因）、取引や管理にかかるコスト（マイナス要因）による要因の他、個別銘柄の組入比率がファンドとベンチマークで若干乖離していることによる要因や、ファンド内でキャッシュを保有していることによる要因などがありますが、2019年4月9日の償還に向け、3月中にポートフォリオの現金化を行ったことで当作成期においてはパフォーマンスの乖離が大きくなりました。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) MSCIワールド・インデックス（円換算ベース）は、ベンチマークです。ベンチマークの詳細は11ページをご参照ください。

分配金

(2018年12月19日～2019年4月9日)

第44期の収益分配金につきましては、基準価額の水準および分配原資の水準などを勘案し、見送りとさせていただきます。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第44期
	2018年12月19日 ～2019年3月18日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	7,131

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

ごあいさつ

当ファンドは2019年4月9日をもって繰上償還を迎えました。

これまでの受益者のみなさまのご愛顧に対しまして、心より厚く御礼申し上げますとともに、今後とも弊社投資信託をご愛顧賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

お知らせ

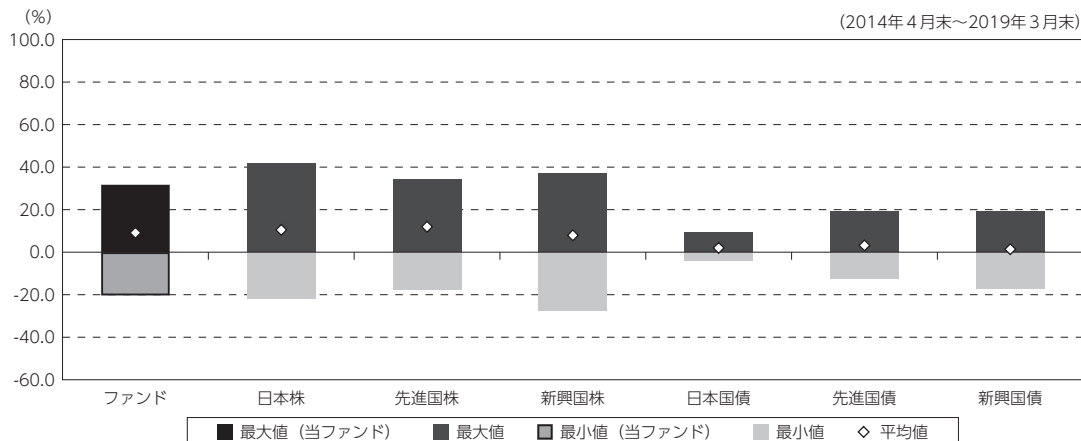
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式／インデックス型	
信託期間	2019年4月9日（繰上償還日）まで	
運用方針	インベスコ 先進国株式インデックス マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、MSCIワールド・インデックス（円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行うことを基本とします。	
主要投資対象	先進国株式インデックス・ファンド	インベスコ 先進国株式インデックス マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。ただし、直接株式に投資する場合があります。
	インベスコ 先進国株式インデックス マザーファンド	日本を含む世界各国の株式（預託証券およびカントリーファンドを含みます。）を主要投資対象とします。
運用方法	主として、マザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を含む世界の先進国の株式に投資を行います。MSCIワールド・インデックス（円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指します。	
分配方針	原則として年4回毎決算時（3・6・9・12月の各18日、該当日が休業日の場合は翌営業日）に委託会社が、基準価額の水準および分配原資の水準等を考慮し、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額等の場合は、分配を行わない場合もあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	9.1	10.5	12.0	7.9	2.0	3.2	1.4
最大値	31.7	41.9	34.1	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	-20.4	-22.0	-17.5	-27.4	-4.0	-12.3	-17.4

(注) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2014年4月から2019年3月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：TOPIX（東証株価指数）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

※各指数についての説明は、P11の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2019年4月9日現在)

2019年4月9日現在、有価証券等の組み入れはございません。

※組み入れているマザーファンドの直近の計算期間の内容につきましては、償還 運用報告書（全体版）に記載しております。

純資産等

項 目	第44期末	第45期末(償還日)
	2019年3月18日	2019年4月9日
純資産総額	188,475,279円	183,934,705円
受益権総口数	139,736,029口	137,821,468口
1万口当たり基準(償還)価額	13,488円	13,345円87銭

*作成期間（第44期～第45期）中における追加設定元本額は1,740,602円、同解約元本額は48,958,498円です。

＜当ファンドのベンチマークについて＞

ベンチマークとしてMSCIワールド・インデックス（円換算ベース）を使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。

MSCIワールド・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を含む世界の先進国で構成されています。また、MSCIワールド・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

○TOPIX（東証株価指数）（配当込み）

TOPIXは、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄の株価を対象として算出した指数です。TOPIXは、東京証券取引所の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、東京証券取引所が有しています。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

○MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。なお、円ベース指数については、委託会社がMSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）に、当日の米ドル為替レート（WM/ロイター値）を乗じて算出しています。

○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガンGBI – EMグローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

JPモルガンGBI – EMグローバル・ダイバーシファイドは、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。円ベース指数については、委託会社がJPモルガンGBI – EMグローバル・ダイバーシファイド（米ドルベース）に、当日の米ドル為替レート（WM/ロイター値）を乗じて算出しています。

指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利はJPMorgan Chase & Co.及び関係会社（「JPモルガン」）に帰属しております。JPモルガンは、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。JPモルガンは、指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドを推奨するものでもなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。